

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2017 年度（後期）指定公募  
「在宅医療推進のための学会等への共催」完了報告書

## 第 2 回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会

テーマ

『みんなで織りなすチーム医療～多職種協働の推進～』

申請者：上原春男

提出年月日：平成 30 年 7 月 6 日

## ■ 実施概要

1. 大会名 : 第2回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会  
全国在宅療養支援診療所連絡会第6回全国大会  
全国在宅療養支援歯科診療所連絡会第6回全国大会  
全国薬剤師・在宅療養支援連絡会第9回学術研修大会
2. テーマ : 「みんなで織りなすチーム医療～多職種協働の推進～」
3. 日時 : 平成30年5月26日(土)・27日(日)
4. 会場 : 国立京都国際会館
5. 対象 : 在宅医療に関わる医師・歯科医師・薬剤師及びパラメディカル、在宅医療に関心のある福祉職、学生
6. 参加費 : ①医師・歯科医師・薬剤師 事前申込：8,000円 当日受付：10,000円  
②メディカルスタッフ 事前申込：5,000円 当日受付：7,000円  
③福祉職・その他 2,000円 ④学生 1,000円
7. 主催 : 一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会  
一般社団法人全国在宅療養支援歯科診療所連絡会  
一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会
8. 共催 : 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
9. 後援 : 日本プライマリ・ケア連合学会、厚生労働省、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本薬剤師会、高齢者住宅財団  
公益社団法人日本看護協会
10. 大会長 : 第2回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会：上原春男（上原医院 院長）  
全国在宅療養支援診療所連絡会第6回全国大会：渡辺康介（医療法人社団都会理事長）  
全国在宅療養支援歯科診療所連絡会第6回全国大会  
：佐々木悦男（京都府歯科医師会副会長）  
全国薬剤師・在宅療養支援連絡会第9回学術研修大会  
：宇野進（京都府薬剤師会副会長）

## ■ 実施状況

1. 参加登録者 : 1275名（医師203名、歯科医師205名、薬剤師370名、看護師96名、  
歯科衛生士88名、ケアマネジャー38名、栄養士57名、  
介護士13名、その他205名）
2. 申込状況 : 事前申込：810名 当日受付：465名
3. プログラム : 28（特別講演2，基調講演2，教育講演1，講演2，  
シンポジウム14，セミナー4，口頭発表2，  
ポスター発表1）
4. 座長・演者 : 136名
5. スタッフ : 121名（5月26日55名、5月27日66名）

## ■ 感想

大会運営上、最も意識したことは参加者数とプログラムの中身であり、医歯薬それぞれの在宅医療に関わる全国組織がうまく融合して横断的に、地域包括ケアの構築に向けた礎の一助に今大会がならないといけないと言う重圧は大変なものであった。

まず、厚労大臣官房審議官の椎葉氏を招聘し、特別講演にて国が考えている最新の情報を受け、医科からは京都府医師会が中心になって取り組んでいる在宅医療の啓蒙と教育、普及、加えて京都府の街中と僻地での在宅医療事情の紹介、ICT の取り組み、認知症や難病、がん末期などの方への意思決定支援、救急医療と ACP のテーマなどを取り上げ、歯科では、地域そして様々な現場を繋ぐ口腔管理&口腔ケアを、薬科では、栄養やリハビリの視点からの薬剤師や多職種連携の在り方など、数多くのディスカッションをした。さらには、医歯薬から、29 の口頭発表、30 のポスター発表、4 つのランチョンセミナーがあった。

今大会は、京都という地域の中での包括ケアの方向性を見直す絶好の機会であり、当地の医科（当然、看護師、リハ職を含む）、歯科（歯科衛生士、管理栄養士を含む）、薬科、福祉職、行政、教育機関がさらに連携を深めて、現状の問題点・課題を共有して協働で解決して、より良い方向へ向かうために取り組んで行く大きな力になったと思う。

そして今後、京都から全国に向けて、より積極的に参加することにより、全国医歯薬連合会の組織、大会を盛り上げていくという方向性が深まれば、この大会の意義は大きかったと考えられる。

その意味において、今回、医師、歯科医、薬剤師、その他の多職種が、目標の 1000 名を大きく上回る 1276 名が集まったことに大変な感謝を申し上げたい。

この大会がさらに実りある発展を続けて行くことを大いに期待したい。

事務局長 土井医院 土井正樹

## ■ プログラム

### 【全国在宅療養医歯薬連合会プログラム】

5 月 26 日（土）

14 : 00～14 : 45

記念式典

#### ・開会宣言

第 2 回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会 大会長 上原 春男

#### ・開会挨拶

全国在宅医療医歯薬連合会 会長 新田 國夫

#### ・来賓挨拶

|                        |         |
|------------------------|---------|
| 厚生労働省大臣官房審議官           | 椎葉 茂樹 様 |
| 京都府健康福祉部長（※京都府知事 挨拶代読） | 松村 淳子 様 |
| 京都市長                   | 門川 大作 様 |
| 日本医師会常任理事（会長代理）        | 市川 朝洋 様 |
| 日本歯科医師会副会長（会長代理）       | 牧野 利彦 様 |
| 日本薬剤師会会長               | 山本 信夫 様 |

14 : 45～16 : 15

特別講演 『医療保険介護保険同時改定について～地域包括ケアと地域医療構想の推進に向けて～』

座長：安達秀樹（一般社団法人 京都府医師会 監事）

演者：椎葉茂樹（厚生労働省 大臣官房審議官）

16 : 30～18 : 00

シンポジウム (1) 『在宅医療の四日市モデル～年間 340 名を在宅で看取る診療所の実際～』

座長：神野君夫（じんのクリニック）

(1) -1 「一馬力のかかりつけ医の立場から」

医療法人 SIRIUS いしが在宅ケアクリニック

石賀 丈士

(1) -2 「訪問看護認定看護師の立場から思い願うこと

～ケアする側（支援者）を支えるために必要な気づかいと、それを受け入れる気づかい～」

医療法人 社団 都会 渡辺西賀茂診療所

村上 成美

(1) -3 「最後まで在宅での生活を支えるために」

公益社団法人京都府介護支援専門員会、武田病院グループ本部福祉介護部医療法人担当

小林 啓治

(1) -4 「大学病院の立場から～退院調整看護師のつぶやき～」

京都府立医科大学附属病院 地域医療推進部 地域医療連携室

岡 薫

(1) -5 「多職種連携実現の第一歩は多職種を知ること」

ゆう薬局グループ

大伴沙織

5月27日（日）

09:00～10:30

シンポジウム (2) 『今後の在宅医療における ICT』

座長：小原章央（医療法人社団都会 渡辺西賀茂診療所）

(2) -1 「京都府における医療介護連携 SNS 「京あんしんネット」の現状と課題」

一般社団法人 京都府医師会理事

松田義和

(2) -2 「地域医療における多職種連携を支える ICT ネットワーク(あじさいネット)」

1)医療法人 長崎宝在宅医療クリニック 院長, 2)医療法人社団 奥平外科医院 院長,

3) 長崎大学 医療情報副部長, 4) 藤井外科医院 院長

松尾 誠司<sup>1)</sup>, 奥平 定之<sup>2)</sup>, 松本 武浩<sup>3)</sup>, 藤井 卓<sup>4)</sup>

(2) -3 「医療と介護を繋ぐ！ヘルスケア・ソーシャル・ネットワーク 「Net4U」

鶴岡地区医師会、三原皮膚科

三原一郎

10:45～11:45

シンポジウム (3) 『これからの在宅チーム医療：行政・教育の立場から』

座長：山脇正永（京都府立医科大学）

(3) -1 「これからの在宅チーム医療：行政の立場から」

厚生労働省 医政局地域医療計画課 在宅医療推進室

松岡輝昌

(3) -2 「これからの在宅チーム医療：教育の立場から」

京都府立医科大学

山脇正永

12：15～13：15

ランチョンセミナー『現代の糖尿病ケア～多様化する DPP-4 阻害薬製剤を活かす～』

座長：上原春男（上原医院 院長）

演者：榊田 出（医療法人財団康生会 武田病院検診センター所長・京都大学医学部臨床教授）

共催：武田薬品工業株式会社

13：30～14：45

連合会シンポジウム (4) 『それぞれの立場からみた認知症』

座長：井上 基（公益社団法人 京都府介護支援専門員会 会長）

(4) 講演「認知症専門医からみた認知症～意思決定支援を中心に～」

演者：成本 迅（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学）

(4) -1 「認知症とケアマネジメント～本人支援の難しさ～」

公益社団法人 京都府介護支援専門員会 副会長

松本善則

(4) -2 「訪問看護の立場から～認知症の人との関わりを通して～」

訪問看護ステーションえいむ

西井 知代

(4) -3 「それぞれの立場からみた認知症」

デイサービスセンターつるさん・かめさん

豊嶋 昭彦

15：00～16：30

連合会シンポジウム (5) 『在宅の場でこそ「わたしの思い」が語れる～在宅発信の ACP（心づもり）  
できていますか？～』

座長：宇都宮 宏子（在宅ケア移行支援研究所）

- (5) -1 「在宅の現場で日々変化する想いに寄り添う～病院の意思決定は覆る～」  
オレンジホームケアクリニック  
紅谷 浩之
- (5) -2 「難病患者家族と 20 年の物語～自分より不幸な人を知っていますか?～」  
訪問看護ステーションにしお  
西尾 圭子
- (5) -3 「「自分らしく最期まで生きる」を支えるからケアマネジャーだからできること～」  
公益社団法人 京都府介護支援専門委員会 常任理事  
川添 チェミ

### 【全国在宅療養支援診療所連絡会プログラム】

5月26日(土)

16:30～18:00

シンポジウム (1) 『ご当地の在宅医療と僻地医療の事情』

座長：北川 靖 (京都府医師会 副会長)

- (1) -1 「日本有数の医療機関密集地域である京都市の中心地域からの在宅医療の活動報告」

社団法人下京西部医師会副会長

藤田 祝子

- (1) -2 「人口 2800 人 京都府唯一の村で患者と語り合う～在宅医療を中心に～」

相楽医師会 在宅医療担当理事,竹澤内科小児科医院科

竹澤 健

- (1) -3 「地域包括ケアの完成を求めて～三方 (さんぼうよし) 研究会のこころみ～」

NPO 法人三方よし研究会代表理事,医療法人社団小串医院

小串 輝男

5月27日(日)

09:00～10:30

講演 1 『医療者にとってありがたいお話』

座長：關 透 (京都府医師会 理事)

演者：細川豊史 (洛和会丸田町病院 院長)

萩野美恵子 (難病緩和ケア研究会 代表 国際医療福祉大学)

10:45～11:45

シンポジウム (2) 『どこまでするのか化学療法 これでもいいのか免疫療法』

座長：渡辺 康介 (医療法人社団 都会 渡辺西賀茂診療所)

- (2) -1 「無益ながん治療を続けられないための戦略」

社会医療法人北斗 地域包括ケア推進センター

蘆野 吉和

(2) -2 「疑いと確信(情報提供・説明・意思決定とは何か)〜どこまでするのか化学療法・これでいいのか免疫療法〜」

仙台往診クリニック

川島 孝一郎

12 : 15～13 : 15

ランチョンセミナー『在宅医療に関する栄養管理の重要性』

座長：太田 秀樹 (医療法人アスムス 理事長)

演者：佐々木 淳 (医療法人社団 悠翔会理事長・診療部長)

共催：アボットジャパン株式会社

13 : 30～14 : 45

教育講演『多職種で織りなす在宅物語』

座長：上原 春男 (上原医院 院長)

演者：斎藤 清二 (立命館大学 総合心理学部 教授)

15 : 00～16 : 30

講演2『在宅医療×救急医療～超高齢化社会に立ち向かうために～』

座長：土井 正樹 (土井医院)

演者：宮本 雄気 (京都府立医科大学 救急医療学教室)

## 【全国在宅療養支援歯科診療所連絡会プログラム】

5月26日(土)

16 : 15～18 : 00

シンポジウム (1)『地域を繋ぐ口腔管理&口腔ケア』

座長：佐藤 雅之 (一般社団法人 京都府歯科医師会 常任理事)

(1) -1 「京都府歯科医師会口腔サポートセンター (KOSC) の活動報告」

京都府歯科医師会地域保健部部員

奥野 博喜

(1) -2 「医科歯科連携による口腔ケアの取り組み～当院と南口腔ケアセンター18年間の連携～」

1)京都九条病院 2)南口腔ケアセンター

北川一智<sup>1)</sup>,高安郁代<sup>1)</sup>,友澤明德<sup>1)</sup>,片山影美子<sup>1)</sup>,

阪田悠美子<sup>1)</sup>,國永智昭<sup>1)</sup>,和田智仁<sup>2)</sup>,徳地正純<sup>2)</sup>

(1) -3 「在宅療養者の食と栄養を支える～訪問栄養と歯科の連携～」

京都府栄養士会(京都訪問栄養士ネット)

樹山 敏子

(1) -4 「薬剤師から見た口腔管理とチーム医療の実践」

ネオプラスファーマ株式会社,大阪大学薬学研究科医療薬学

松本 朋子

- (1) -5 「地域を繋ぐ口腔管理&口腔ケア」  
口腔栄養サポートチーム レインボー代表  
篠原 弓月

5月27日(日)

09:30~11:30

シンポジウム(2)『認知症の方の「食べる」を包括的に支援する～歯科の視点を摂食現場に～』

座長:大石善也(大石歯科医院)

基調講演『高齢者の心身の特性・口腔機能管理・緊急時の対応について』

演者:上村 俊介(総合病院山口赤十字病院 歯科口腔外科部長)

- (2) -1 「在宅生活を支えてきた「歯科からの食べる支援」」  
養父市国民健康保険大屋歯科診療所 所長  
砂治 國隆
- (2) -2 「在宅生活を継続するための歯科衛生士の包括的食支援」  
養父市国民健康保険大屋歯科診療所  
高木 史恵
- (2) -3 「法人歯科衛生士としての包括的支援～医療的支援から生活支援まで～」  
北中城若松病院 お口のリハビリ課  
久場島 利美子
- (2) -4 「歯科の視点を「包括的な摂食支援」に活かす～認知症患者への「食べるための義歯」を求めて～」  
医療法人 和光会 理事長  
諸井 英二
- (2) -5 「認知高齢者の「食べる」を歯科衛生士の視点で捉えなおす」  
元気なお口研究会 まほろば  
渡邊 由紀子

12:15~13:15

ランチョンセミナー『地域包括ケアシステムの一翼を担う在宅訪問栄養士の役割  
～食文化から低栄養・脱水までを含めた栄養支援～』

座長:新田 國夫(日本在宅ケアアライアンス 議長)

演者:前田 佳予子(日本在宅栄養管理学会理事長,  
武庫川女子大学 生活環境学部食物栄養学科 教授)

共催:株式会社大塚製薬工場

14:00~16:00

シンポジウム(3)『様々な現場を繋ぐ口腔管理&口腔ケア  
～在宅小児・難病から病院・施設そして看取りまで～』



座長：關 透（京都府医師会 理事）

- (3) -1「在宅療養小児患者における訪問歯科診療～今後の連携と課題～」  
医療法人純康会徳地歯科医院  
和田 智仁
- (3) -2「急性期病院における口腔ケア」  
社会医療法人 愛仁会 高槻病院 救急センター主任 救急看護認定看護師  
高西 弘美
- (3) -3「病院における口腔ケアセンターの役割」  
市立池田病院歯科口腔外科,口腔ケアセンター  
大西 徹郎
- (3) -4「認知症で拒否がある入居者の口腔ケアを統一する工夫～南口腔ケアセンターとの連携から～」  
特別養護老人ホーム 塔南の園  
川島 優香,仲井 美貴美
- (3) -5「緩和ケアでの口腔管理の実践」  
独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 歯科口腔外科  
下郷 麻衣子

**【全国薬剤師・在宅療養支援連絡会プログラム】**

5 月 26 日（土）

16：30～18：00

シンポジウム (1)『リハと栄養の効果を最大限にするための処方適正化

～「リハ」・「栄養」・「薬」の視点から～』

座長：山本新一郎（ダイドー薬品株式会社 代表取締役）

志摩大介（ゆう薬局グループ）

- (1) -1「在宅栄養管理の理想的アプローチ  
～「栄養」×「運動」×「薬」を ICF から考える～」  
メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都  
山下 和典
- (1) -2「在宅栄養管理の理想的アプローチ～「栄養」×「運動」×「薬」～」  
てらど訪問看護ステーション  
片桐 正
- (1) -3「訪問栄養士を知っていますか？～多職種との連携で活かせる職能～」  
公益社団法人 京都府栄養士会  
宮崎 圭子
- (1) -4「生きることの全体像を考慮した薬学管理～専門性の壁と弱さの情報公開と京都の焼鳥屋～」  
株式会社龍生堂本店 地域医療連携室  
豊田義貞

5 月 27 日（日）

09 : 00～10 : 15

京滋摂食嚥下を考える会（合同企画）

『「食べる楽しみ」と町づくり～京滋摂食嚥下を考える会の活動を中心に～』

座長：小林篤史（ゆう薬局グループ, 岐阜薬科大学 実践社会薬学研究室）

演者：和田 智仁（医療法人純康会 徳地歯科医院）

石黒 幸枝（米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」）

上田 孝博（京都府生菓子協同組合 研究部）

松味 利晃（株式会社北川本家）

10 : 30～12 : 00

シンポジウム (2) 『シームレスな多職種連携を考える』

座長：宇野 進（京都府薬剤師会 副会長）

楠本 正明（京都薬科大学）

(2) -1 「患者のための「薬薬連携」を考える」

医療法人同仁会（社団） 京都九条病院 薬剤部

友沢 明德

(2) -2 「多職種連携の前に、薬薬連携はできているか」

一般社団法人 大阪ファルマプラン あおぞら薬局

宇都宮 励子

(2) -3 「訪問看護における服薬管理と多職種連携

～療養者が在宅で自分らしく生きぬくことを支えるために～」

訪問看護ステーションひろば

茶谷 妙子

(2) -4 「シームレスな多職種連携を考える」

じんのクリニック

神野 君夫

12 : 15～13 : 15

ランチョンセミナー1 『在宅緩和ケアの現状とこれから』

座長：上野 博司（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 准教授）

演者：渡辺 剛（在宅緩和ケア・在宅クリニック 院長）

ランチョンセミナー2 『がん疼痛に対する各種オピオイド鎮痛薬の使い分け～ヒドモルフォンをどう使うか～』

座長：渡辺 剛（在宅緩和ケア・在宅クリニック 院長）

演者：上野 博司（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 准教授）

共催：第一三共株式会社

13 : 30～16 : 30

シンポジウム (3) 『医薬制度の中の薬局の未来を考える』

総合司会：金子 雅好 (全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 近畿ブロック長)

特別講演『医療制度からみた薬剤師への期待』

座長：川添 哲嗣 (南国病院薬剤部長)

演者：勝山 佳菜子 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 総務課)

グループワーク『地域包括ケアでの薬局と多職種の未来像』

進行：金子 雅好・川添 哲嗣

特別コメンテーター：大澤 光司 (全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 会長)

## 【一般演題】

5 月 27 日 (日)

午前の部 10 : 00～12 : 00

口頭発表

O-1 「京都市西京区における西京口腔サポートセンターの活動実績～9年間の軌跡と 10年目の奇跡～」

1)京都市西京歯科医師会 西京口腔サポートセンター長,2)よしき往診クリニック 院長,

3)京都市西京歯科医師会 会長

澤田卓男<sup>1)</sup>, 守上佳樹<sup>2)</sup>, 松本尚憲<sup>3)</sup>

O-2 「地域の相談薬局として私ができること」

1)株式会社 コム・メディカル ハート調剤薬局 柏崎店,2)株式会社 コム・メディカル

安澤 泰永<sup>1)</sup>, 木村 巧<sup>2)</sup>, 佐藤 雄一<sup>2)</sup>

O-3 「山科地域ケア愛ステーションから広がる訪問管理栄養士の活動」

1)京都訪問栄養士ネット,2)愛生会山科病院

樹山 敏子<sup>1)</sup>, 荊木 文子<sup>1)</sup>, 荒金 英樹<sup>2)</sup>

O-4 「京都市西京区における多職種連携による在宅での嚥下内視鏡検査実施の報告～主治医、歯科医師、言語聴覚士の連携で取り戻された嚥下障がい患者の経口摂取への自信～」

1) 株式会社アドナース 言語聴覚士,2)小笹歯科診療所 院長,3)よしき往診クリニック院長,

4)一般社団法人京都府歯科医師会 口腔サポートセンター主任所員歯科医師,5)医療法人純康会徳地歯科医院 理事,6)御所西歯科中川クリニック 歯科医師,7)武田歯科医院 院長,8)公益社団法人京都府歯科衛生士会 副会長,9)大河歯科医院 院長

有本 悠吾<sup>1)</sup>,小笹 誠<sup>2)</sup>,守上 佳樹<sup>3)</sup>,水野 昭彦<sup>4)</sup>,和田 智仁<sup>5)</sup>,中川 研人<sup>6)</sup>,  
武田 吉治<sup>7)</sup>,吉本 美枝<sup>8)</sup>,大河 貴久<sup>9)</sup>

O-5 「地域在宅医療への参画に向けて～多職種の協働と調和～」

アイアールファーマシー株式会社 ひかり薬局取手店 在宅支援室  
飯塚 織恵

O-6 「真岡発、在宅緩和ケアの取組について～地域における在宅緩和ケア支援センターの役割とは～」

医療法人創生会 芳賀在宅緩和ケア支援センター  
飯田多巳江, 岩崎昭子, 宋 鐘権, 趙 達来, 小川松夫

O-7 「独居高齢者に対する医師・薬剤師連携による薬剤管理の取り組み」

1)篠原湘南クリニッククローバーホスピタル<sup>1)</sup>, 2)インターハート株式会社あやみ薬局  
原田 真吾<sup>1)</sup>, 稲垣 愛美<sup>2)</sup>, 開田 脩平<sup>1)</sup>, 引野 幸司<sup>1)</sup>, 篠原 歩<sup>1)</sup>, 丹野 善博<sup>1)</sup>,  
鈴木 勇三<sup>1)</sup>, 稲垣 雅彦<sup>2)</sup>, 篠原 裕希<sup>1)</sup>

O-8 「療養病床から在宅療養へ、多職種で支えた夢の経口摂取までの夢物語」

株式会社やすらぎ ケアプランやすらぎ  
吉田 康子

O-9 「在宅における重度嚥下障害患者の摂食指導 歯科医師と言語聴覚士が連携した1例」

御所西歯科中川クリニック,かなえるリハビリ訪問看護ステーション都  
歯科医師 中川研人,言語聴覚士 福沢ひとみ

O-10 「多職種連携 ICT システム導入による薬剤師の在宅医療への参画モチベーション向上」

数尾診療所  
数尾 展

O-11 「多職種連携の会を立ち上げた経緯から運用まで～医療介護同時改定を踏まえて～」

社会医療法人 仙養会 北摂総合病院ケアプランセンター  
坂本 貴政

O-10 「在宅医療における、救急搬送時の医師あるいは診療同行スタッフ同乗の意義」

1)篠原湘南クリニック クローバーホスピタル, 2)湘南慶育病院  
廣澤 弘大<sup>1)</sup>, 開田 脩平<sup>1)</sup>, 原田 真吾<sup>1)</sup>, 引野 幸司<sup>1)</sup>, 若木 美佐<sup>2)</sup>, 辻 弘美<sup>1)</sup>,  
鈴木 勇三<sup>1)</sup>, 篠原 裕希<sup>1)</sup>

午後の部 13:30～16:30

口頭発表

O-1 「末期口腔癌患者ケアに対する訪問歯科衛生士の役割」

医療法人顕樹会 本田歯科クリニック 訪問診療部  
飛田薫, 船山高明, 本田顕哲

O-2 「在宅終末期がん患者に対する麻薬注射剤導入における薬局薬剤師の介入状況」

とくひさ中央薬局  
小林星太, 大木孝弘

O-3 「RFP 服用中胃癌残胃全摘後骨転移患者の在宅緩和ケアでの事例報告

～退院時カンファレンスへの参加と MCS を活用した多職種連携～」  
日吉ゆう薬局  
松下智侑

O-4 「複数の注射薬を使用しているにもかかわらずポンプ3台を使用して退院できたがん終末期患者の症例  
～退院前後でシームレスな薬物療法を目指す～」

株式会社ナチュラルライフ らいふ薬局  
中村 薫, 川崎 博行

O-5 「在宅緩和ケアにおけるPCAの有用性」

要町病院・要町ホームケアクリニック  
吉澤明孝, 森田祥子, 池田博齊, 吉澤孝之

O-6 「臨床的脳死状態で長期生存している小児2例の在宅医療での実践」

1)安中外科・脳神経外科医院,2)たくま医院,3)長崎大学病院小児科,4)訪問看護ステーション鳴見,5)長崎県看護協会訪問看護ステーション YOU,6)鶴丸薬局,7)角町歯科医院  
安中正和<sup>1)</sup>, 詫摩和彦<sup>2)</sup>, 船越康智<sup>3)</sup>, 伊達木澄人<sup>4)</sup>, 松嶋由美<sup>5)</sup>, 金子和美<sup>6)</sup>,  
宮崎久美<sup>6)</sup>, 丸木寿郎<sup>6)</sup>, 角町正勝<sup>7)</sup>

O-7 「上行大動脈解離から多発性脳梗塞を起こし気管切開及び胃ろうになった患者に対して経口摂取を開始した一症例」

1)口腔栄養サポートチーム レインボー, 2)株式会社リープ, 3)エビナ歯科医院, 4)東京都新宿区歯科医師会, 5)東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 老化制御学系口腔老化制御学講座 高齢者歯科学分野  
川野 麻子<sup>1)</sup>, 篠原 弓月<sup>1)</sup>, 山岸 すみ子<sup>2)</sup>, 蛭名 勝之<sup>3,4)</sup>, 戸原 玄<sup>5)</sup>

O-8 「神経難病、腸瘻造設患者の「お楽しみ摂食」継続への取り組み～訪問管理栄養士の視点から～」

医療法人悠明会 在宅支援いむらクリニック

藤村 真依

O-9 「管理栄養士の認知症摂食支援～摂食力と咀嚼を引き出す工夫～」

地域栄養ケアセンター とよだ

豊田 綾子

O-10 「食欲不振例に対する薬剤師と管理栄養士の連携」

サンキュードラッグ ハローパーク大手町薬局

末延 竜哉

O-11 「適切な時期に食支援がスタートし要介護5から要支援2に回復した事例

～在宅で歯科が中心となり食べる喜びから生きる喜びの支援へ～」

1)口腔栄養サポートチーム レインボー,2)湘南食サポート歯科

篠原弓月<sup>1)</sup>,三幣利克<sup>2)</sup>

O-12 「生まれてから一度も口から食べたことのなかった小児が口から食べるようになり、胃瘻からの  
注入をいやがっている現在までの経過～多職種・多施設連携のもとに～」

1) 小川歯科医院, 2)日本歯科大学口腔リハビリテーション科, 3)東京都立東部療育センター  
歯科, 4)江東区医師会訪問看護ステーション,5)株式会社ヘルシーネットワーク

小川伸子<sup>1)</sup>, 町田麗子<sup>2)</sup>, 中村全宏<sup>3)</sup>, 原田博美<sup>4)</sup>, 多和田幸広<sup>5)</sup>

O-13 「つながれ！ひろがれ！おいしく食べるプロジェクト」

大分県医療生活協同組合 けんせい歯科クリニック所長

後藤芳枝

O-14 「在宅での薬局の看取り件数～多死社会を見据えた薬剤師ができること～」

仁天堂薬局 本店

湯川 仁,田内 よし子,東田 早織,結城 伸至,中嶋 麻澄

O-15 「強化型在宅療養支援病院での看取りを考える。～よりより看取りを実践するために～」

1)クローバーホスピタル, 2)湘南慶育病院

開田 脩平<sup>1)</sup>, 若木 美佐<sup>2)</sup>, 原田 真吾<sup>1)</sup>, 引野 幸司<sup>1)</sup>, 三村 実<sup>1)</sup>, 篠原 歩<sup>1)</sup>,

丹野 善博<sup>1)</sup>, 鈴木 勇三<sup>1)</sup>, 門倉 充代<sup>1)</sup>, 篠原 裕希<sup>1)</sup>

O-16 「誤嚥性肺炎のリスク軽減を踏まえた口腔ケアの検討～口腔機能管理ができる歯科衛生士育成  
の一環として～」

島根県松江市 吉川歯科クリニック

吉川浩郎

O-17 「ペースト食は誤嚥性肺炎の再発防止に効果があるかを考察する～一人の患者を救うため実効ある嚥下食の共通認識を多職種で共有する～」

さくらばし歯科医院,全国在宅療養支援歯科診療所連絡会

渡邊宏春<sup>1)2)</sup>,杉田恭子<sup>1)2)</sup>,佐藤美紀<sup>1)2)</sup>,森恵利子<sup>1)2)</sup>,望月由子<sup>1)2)</sup>

O-18 「誤嚥性肺炎を繰り返す在宅療養者に対する安定化のプロセス～脊髄小脳変性症患者に対する在宅移行期集中的ケアマネジメント～」

株式会社 Community Management 訪問看護ステーションひゅっぐりー

中川征士,山田淳美,藤野頼貴

O-19 「在宅医療で必要な技能習得を目指した薬剤師在宅医療技術研修会の開催とその評価」

1) 岐阜薬科大学実践社会薬学研究室, 2)岐阜薬科大学地域医療薬学講座, 3)一般社団法人岐阜県薬剤師会

福本実咲<sup>1)</sup>, 國府田真綾<sup>1)</sup>, 金地夏実<sup>1)</sup>, 水崎直樹<sup>1)</sup>, 桑原千明<sup>1)</sup>, 林 秀樹<sup>1),2),3)</sup>, 曾我望武<sup>3)</sup>, 丹羽智子<sup>3)</sup>, 棚瀬友啓<sup>3)</sup>, 杉山 正<sup>1),2),3)</sup>

5 月 27 日 (日)

ポスター発表

P-1 「注射薬無菌調製の技術研修における陰圧トレーナーの利用と評価」

1) 岐阜薬科大学実践社会薬学研究室, 2)岐阜薬科大学地域医療薬学講座, 3)一般社団法人岐阜県薬剤師会

桑原千明<sup>1)</sup>, 國府田真綾<sup>1)</sup>, 金地夏実<sup>1)</sup>, 味澤香苗<sup>1)</sup>, 林 由依<sup>1)</sup>, 福本実咲<sup>1)</sup>, 林 秀樹<sup>1),2),3)</sup>, 棚瀬友啓<sup>3)</sup>, 杉山 正<sup>1),2),3)</sup>

P-2 「薬局実習における在宅プログラム導入の成果と今後」

ゆう薬局グループ

松浦 和輝,池田 花梨,上堀 元気,米村 麻子,武田 奈都子,船戸 一晴,近藤 良祐,宇野 進

P-3 「宝塚市における地域連携推進に向けた取り組み～「宝塚市薬剤師地域連携研究会」の評価と活動～」

1) 宝塚市薬剤師会,2)宝塚市立病院薬剤部,3)回生会宝塚病院薬剤部,4)宝塚第一病院薬剤部,5)宝塚磯病院薬剤部,6)こだま病院薬剤部

琢磨寛孝<sup>1)</sup>, 畑世剛<sup>1)</sup>, 吉岡睦展<sup>2)</sup>, 高橋市吉<sup>3)</sup>, 高谷智広<sup>4)</sup>, 掛布裕子<sup>5)</sup>, 牧尾知奈美<sup>6)</sup>, 辻隆志<sup>2)</sup>, 池田りき子<sup>1)</sup>

P-4 「ソーシャルバイタルサイン（患者の社会的側面）を考慮した在宅医療について～当薬局の 17 年間の記録から今後の薬局の役割を考える～」

(株) 群馬保健企画 あおば薬局太田店

小嶋さおり

P-5 「一般社団法人ミライ☆在宅委員会の活動報告」

1)ミライ☆在宅委員会,2)昭和薬科大学

三谷 徳昭<sup>1)</sup>,大島 幸徳<sup>1)</sup>,山内 伴紀<sup>1)</sup>,大口 顕<sup>1)</sup>,橋本 登<sup>1)</sup>,曾我 あすか<sup>1)</sup>,  
串田一樹<sup>1),2)</sup>

P-6 「医師と薬剤師が処方見直しを行い ADL が改善した 1 例」

1)ミライ☆在宅委員会,2)昭和薬科大学

三谷 徳昭<sup>1)</sup>,大島 幸徳<sup>1)</sup>,山内 伴紀<sup>1)</sup>,大口 顕<sup>1)</sup>,橋本 登<sup>1)</sup>,曾我あすか<sup>1)</sup>,  
串田 一樹<sup>1),2)</sup>

P-7 「宅配食一覧表作成の取り組み～地域高齢者の食生活サポートのために～」

社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院 栄養科

田畑直子,川手由香,稲田望来,前川由紀子,杉井芙美佳,仲村ゆうな,桑原末季

P-8 「在宅新規開始例の分析からみた薬剤師介入と多職種連携」

一般社団法人ヘルスプランニング金沢 菜の花薬局

安田幸子,山内美穂,中谷浩子

P-9 「服薬支援ロボでつながる輪～多職種連携により、服薬コンプライアンスを改善した症例～」

(株)エルマノ すばる中央薬局大船店

武末篤太,海老名史香,瀬戸聡,平田恵里

P-10 「全医療職種対象で医療の知識を互助的に学習する勉強会の活動報告～明日の治療にすぐに役立つ知識を学ぶ「いつもの勉強会」の設立と活動範囲の拡大～」

1)いつもの勉強会,2)菅原歯科医院,3)新美歯科オーラルケア,4)福岡歯科大学総合歯科学講座,  
5)聖隷横浜病院,6)大井町駅前薬局,7)ミライ☆在宅委員会

菅原豊太郎<sup>1,2)</sup> 新美寿英<sup>1,3)</sup> 野末真司<sup>1)</sup>,加藤智崇<sup>1,4)</sup>,木村浩一<sup>1,5)</sup>,伊東和哉<sup>1,6)</sup>,三谷徳昭<sup>1,7)</sup>

P-11 「終末期の在宅訪問における多職種連携の重要性と薬局の役割について」

一般社団法人大阪ファルマプラン なぎさ薬局

大野 涼,加藤歩,金井子,小野尚美,廣田憲威

P-12 「在宅における歯牙外傷とその対応」

茨城県結城市 三木歯科医院

三木次郎

P-13 「訪問歯科診療を通した歯科医師臨床研修修了後の意識変化～都会の大学病院から地方の歯科医院へ～」

三木歯科医院,日本大学歯学部附属歯科病院歯科放射線学講座



三木宏美

- P-14 「乙訓まち薬局における在宅患者のポリファーマシーの現状と減薬への取り組み」  
乙訓まち薬局,2)京都第一赤十字病院,3)立命館大学薬学部  
坂口彰<sup>1)</sup>, 八川雄太<sup>1)</sup>, 坂口裕子<sup>2) 3)</sup>
- P-15 「超高齢少子化社会で求められる薬局・薬剤師の役割とは？」  
北里大学薬学部社会薬学部門,みなと保健所健康推進課地域保健係  
小島崇司,山田晃弘,明石一孝,吉永直弘,山本大介,深町伸子,鈴木順子,森田千晶,矢澤高明
- P-16 「超高齢人口減少社会における地域の薬局・薬剤師の役割」  
北里大学、薬学部、社会薬学部門  
吉永 直弘,小島 崇司,所 智洋,明石 一孝,深町 伸子,鈴木 順子
- P-17 「薬局において東洋医学を用いて地域医療・保健に貢献する」  
北里大学、薬学部、社会薬学部門  
明石一孝,小島崇司,所智洋,吉永直弘,深町伸子,鈴木順子
- P-18 「地域の関連機関と連携した山城南地域住民の介護生活への支援活動」  
1) (株) 京都南調剤薬局 おおくぼゆう薬局,2)久津川ゆう薬局,3)上の山ゆう薬局,  
4)たなべゆう薬局  
篠田裕貴<sup>1)</sup>,木村良宇<sup>1)</sup>,樫原理紗<sup>1)</sup>,澤田祐樹<sup>2)</sup>,由岡麻衣香<sup>2)</sup>,伊東弥生<sup>2)</sup>,木作沙綾<sup>2)</sup>,  
水野由夏<sup>3)</sup>,戸田愛子<sup>4)</sup>,井上まどか<sup>4)</sup>
- P-19 「豊島区における医療介護専用 SNS を用いた多職種連携の取り組み～「地域包括ケアシステムの構築・地域共生社会の実現」に向けて～」  
1) 公益社団法人豊島区医師会 在宅医療相談窓口、2) 公益社団法人豊島区医師会地域医療部  
薬剤主査  
中辻康博<sup>1)</sup>,猿渡寿彦<sup>1)</sup>,武山ゆかり<sup>1)</sup>,高橋清輝<sup>2)</sup>,岡野晃<sup>2)</sup>,土屋淳郎<sup>2)</sup>,中村卓<sup>2)</sup>,上川床裕<sup>2)</sup>,  
井口裕章<sup>2)</sup>,吉澤明孝<sup>2)</sup>,弓野大<sup>2)</sup>
- P-20 「超高齢少子化社会における保険制度の在り方と薬局・薬剤師の機能」  
北里大学薬学部 社会薬学部門  
所 智洋, 明石一孝, 小島隆司, 吉永直弘, 深町伸子, 鈴木順子
- P-21 「京あんしんネット・電子連絡ノートを使用した在宅」  
境谷ゆう薬局  
服部 万里子

P-22 「地域薬局における「高齢になっても自立して買い物を楽しめる街づくり」の参画～医療機関と個人商店のコラボレーション「CAFE 花ことば」の開催～」

1) りんご薬局立花店,2)あすてっぷ立花デイサービス  
勝野純子<sup>1)</sup>、湯川由子<sup>2)</sup>

P-23 「在宅療養支援における薬剤師評価の共有と多職種連携の実際～精神・神経疾患事例を中心に～」

1)丹後大宮ゆう薬局,2)河辺ゆう薬局  
菅生 稔<sup>1)</sup>,堀川利治<sup>1)</sup>,山下翔一郎<sup>1)</sup>,戸田隆弘<sup>2)</sup>,山中健史<sup>2)</sup>

P-24 「地域における認知症の疾病観を変えるために～オレンジカフェ上京（地域型認知症カフェの取り組み）～」

特定非営利活動法人 オレンジコモンズ、オレンジカフェ上京実行委員会  
高木 はるみ

P-25 「グループホームで看取るということ～グループホームの現状と介護職員の気持ち～」

医療法人社団 都会 グループホームほっこり庵  
小林 浩雄,徳田 雄亮,大田 慶一

P-26 「お薬手帳を活用した保険薬局と介護支援専門員との連携促進」

1)牧ゆう薬局, 2)内記ゆう薬局, 3)ふくちやまゆう薬局, 4)大池坂ゆう薬局  
川端大毅<sup>1)</sup>, 岡澤志紀<sup>1)</sup>, 小林有吾<sup>1)</sup>, 吉田雄剛<sup>2)</sup>, 澤田瞳<sup>2)</sup>,  
畠中駿一<sup>2)</sup>, 久留米愛<sup>3)</sup>, 安部恵里<sup>3)</sup>, 成田裕子<sup>3)</sup>, 水谷俊貴<sup>4)</sup>

P-27 「誤薬ゼロを目指す施設服薬管理の取り組み～汎用お薬カレンダーの活用法～」

株式会社 中央薬局  
堀籠淳之, 吉田直哉, 伊藤裕康, 長塚健太, 遠藤 舞, 松坂直樹, 堀籠大之

P-28 「在宅管理の若年性アルツハイマー型認知症の継続的口腔ケア～毎日自宅に出入りする多職種による「歯みがきの声かけ」の取り組み～」

1) 社会医療法人芳和会菊陽病院歯科, 2) 居宅介護事業所たくまの里, 3) くすのきクリニック 4)くすのきクリニックデイサービス  
山口彩子（歯科医師）<sup>1)</sup>, 久保田千穂（歯科衛生士）<sup>1)</sup>, 須崎文子（ケアマネジャー）<sup>2)</sup>,  
河野直子（介護福祉士）<sup>2)</sup>, 板井八重子（医師）<sup>3)</sup>, 増田里恵（介護福祉士）<sup>4)</sup>

P-29 「猫が患者のQOLに悪影響を与えた一例」

群馬保健企画 コアラ薬局高崎店  
石立 真哉

P-30 「自治体と薬学生の協働による市民の医療意識調査活動報告及び今後の展望」

1) 北里大学薬学部, 2) みなと保健所健康推進課地域保健係

平尾 隆亮<sup>1)</sup>, 岩元 友美<sup>1)</sup>, 深町 伸子<sup>1)</sup>, 森田 千晶<sup>2)</sup>, 矢澤 高明<sup>2)</sup>, 鈴木 順子<sup>1)</sup>

「この大会は公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成による」